



2学期も残りわずか！

松明あかしを境に寒い日が続くようになり、着実に冬の足音が近づいています。25日(水)には、思いがけない初雪に見舞われ、校庭も白一色となってしまいました。

学校では2学期も残すところ1ヶ月を切り、まとめの時期となってきました。特に3年生にとっては三者相談後、受験と真剣に向き合うシーズンとなりました。面接の練習も間もなく実施される予定となっています。受験生にとって一番大事なことは、一日一日をどう過ごすかということです。目標を達成するためには、毎日の授業に集中し、家庭での学習を計画的に進めることが大切なことです。自分に厳しく充実した生活を送ることのできる人が、勝者になれるはずです。勉強に近道はないことを肝に銘じて、全員が乗り越えてほしいものです。

14日(土)は学校公開日として、授業公開、教育講演会、模擬店、そして松明あかしを実施しました。

授業公開

1,2校時に、全学級の授業公開を行いました。多くの保護者の皆様に参観いただきまして、誠にありがとうございました。

模擬店

P T A 厚生部主催による模擬店が、大盛況のうちに終了することができました。たくさんの生徒・保護者の皆様にご利用いただき、感謝申し上げます。

収益金については、部活動費として活用させていただきます。

松明あかし

夕方から翠ヶ丘公園の五老山において、松明あかしが盛大に行われました。雨の降りしきる中でしたが、午後6時30分に大松明に点火され、本校の松明にも前生徒会会長の大木翔太(3年)くんの手によって点火されました。夜空を焦がすように赤々と松明が燃え上がる中、力強い応援合戦を最後まで行いました。本校の松明は、点火してから倒れることなく、他の松明よりも長い時間かけてきれいに燃え上がりました。

前日には、全校生で出発式を行い、松明を設置する際には、松明づくりでお世話になった伊藤さんやP T A 役員の皆さんにお世話になりました。ご協力ありがとうございました。



(二中生の活躍)

岩瀬地区書写コンクール

協議会会長賞 橋本 優希(2年)
推選

1年 熊田 凜 齊藤 なお
杉原 愛 渡邊 碧

柏原 梨花

2年 石井 瑞希 西間木涼乃
柳沼 采樹 小林 太一
佐藤 恵麻 吉田 愛羽

3年 佐藤 怜奈 佐藤 陽菜
阿部 愛海 齋藤 未菜

岩瀬地区音楽祭(創作)

特選 奈良坂憲芳(2年)

村田果蓮 緑川琴音(1年)

銀賞 松川未悠(2年)

真壁李奈(1年)

晩翠あおば賞 佳作 安部愛海(3年)

県南中学新人卓球大会

男子団体 3位

男子団体オープンの部 1位 Bチーム
3位 Cチーム

1年男子シングルス 3位 菱川 賢生

2年男子シングルス 2位 宇佐見彩斗

女子団体 2位

女子団体オープンの部 1位 Bチーム
2位 Cチーム

市民体育祭サッカー競技 優勝

象潟奥の細道短剣道東北大会

小・中学生の部 優勝 中川 諒久(1年)

健康優良児童生徒

安藤 弥生 大木 翔太(3年)

教育講演会

3, 4校時にPTA総務部主催の教育講演会を行いました。講師には全国各地で数多く講演している腰塚勇人さんをお迎えし、「命の授業」～今の幸せに気づくことから夢は広がる～と題してお話をいただきました。

自身の体験に基づいた貴重な話を聞き、感動しながら命の大切さについて考える時間となりました。「ドリーマーメーカー」の話も「五つの誓い」も、生徒たちの心の中にいつまでも残っていくものと思います。自分自身の「ドリーム・キラー」を追い出し、「ドリーマーメーカー」を大切にしていきたいものです。



『命の授業』五つの誓い

- 口は、人を励ます言葉や感謝の言葉を言うために使おう。
- 耳は、人の言葉を最後まで聴いてあげるために使おう。
- 目は、人のよいところを見るために使おう。
- 手足は、人を助けるために使おう。
- 心は、人の痛みがわかるために使おう。

講演後、腰塚先生から「二中学生の話」を聞く態度は、今までの数多い講演会の中でも5本の指に入るほどよかったです。」とのお褒めの言葉をいただきました。とてもうれしい言葉でした。

部活動報告会を開催！

20日（金）の午後7時からホテル虎屋において、PTA体育文化後援会主催の部活動報告会が開催されました。100名近い参加者があり、盛大かつ有意義な懇親会となりました。

懇親会では、各部の顧問と保護者の皆様が、これまでの労をねぎらったり、他の部との交流を深めたりしました。

その後、各部ごとに活動内容や成績の報告をし合い、時間の経つのを忘れてしまう程、盛り上がりしました。

来年度も開催する予定ですので、さらに多くの保護者の皆様の参加をお待ちしております。

小中一貫教育研修会！

19日（木）の午後に本校において、第2回の須賀川二中学区小中一貫教育研修会を開催しました。第1回目は、3つの小学校を会場に行いましたが、今回は、本校に3つの小学校から先生方が集まったの研修会となりました。

始めに1年生の授業参観を行いました。生徒たちは、この3月までお世話になっていた先生方にお会いし、緊張しながらうれしそうに授業を受けていました。少しは成長した姿が見せられたのではないかと思います。その後、4つの分科会に分かれて協議を行い、その話し合われた内容を全体会で共有しました。

小中学校で9年間を見通した教育ができるよう、さらに研修を深めていきたいと考えております。保護者の皆様、地域の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

こころの窓

自分の道は、自分で切り開いていくものです。今は中学生ですが、自分の力で乗り越えていかなければならない時がやがて来ます。心が弱いと、自分の道だけが険しく、他人の道は平坦に見えることもありますが、誰もが同じようにそれぞれの道を歩んでいるものです。目の前の自分の道から足を踏み外すことなく、一步一步着実に歩を進めていく心がけが大切なことです。

機関誌「PHP」からの一篇を紹介いたします。

道

自分には自分に与えられた道がある。天与の尊い道がある。どんな道かは知らないが、他の人には歩めない。自分だけしか歩めない、二度と歩めぬかけがえのないこの道。広い時もある。せまい時もある。登りもあれば下りもある。坦々とした時もある。かきわけかきわけ汗する時もある。この道が果たしてよいのか悪いのか、思案にあまるときもある。なくさめを求めたくなる時もある。しかし、所詮はこの道しかないのではないか。

あきらめると言うのではない。いま立っているこの道、いま歩んでいるこの道、ともかくもこの道を休まずに歩むことである。自分だけしか歩めない大事な道ではないか。自分だけに与えられているかけがえのないこの道ではないか。他人の道に心を奪われ、思案にくれて立ちすくんでいても、道は少しもひらけぬ。道をひらくためには、まず歩まねばならぬ。心を定め、懸命に歩まねばならぬ。

それがたとえ遠い道のように思えても、休まず歩む姿勢からは、必ず新たな道がひらけてくる。深い喜びも生まれてくる。